

大阪府指定出資法人評価等審議会 委員意見（評価、指導・助言）

審議会日及び法人名	委員意見	従 前
【7月17日審議会】 (公財)大阪府国際交流財団	「外国人情報コーナーの相談件数」や「ホームページアクセス数」は、新型コロナウイルスに関する多様な情報を求める在留外国人のニーズ等を受けて、目標値を大幅に上回ったのか。 在留外国人から寄せられた情報ニーズへの適合状況や体制などについて、言及すべき。	(評価) ・最重点目標である「地域合同相談会開設回数」については、相談会1回あたりの相談者数が伸び悩んでいることから、相談会の実施手法を見直すなど、改善に向けた取組みが必要である。 ・「外国人情報コーナーの相談件数」や「ホームページアクセス数」については目標値を大幅に達成しており、在留外国人の情報源として一定の役割を果たしている点は評価できる。 (指導・助言) ・地域合同相談会については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、これまでの対面型の相談形式に加え、オンラインによる相談の受付など、在留外国人の相談対応の強化を検討されたい。 ・引き続き、運営コストの抑制や補助金・委託金等外部資金の獲得に努めることで、安定した法人運営に取り組むこと。
【7月22日審議会】 大阪府土地開発公社	指導・助言の「用地取得の難易度が上昇」と記載されているが、具体的にどのようなことがあって難易度が上昇しているのか分かりにくい。詳しく記載すべき。	(評価) ・最重点目標である「用地取得の進捗率」については、前年度よりも改善が見られたものの2年連続で未達成となり、加えて「出先事務所職員1人あたりの契約件数」及び「用地取得に係る人件費比率」についても未達成となっていることから、効率的な用地取得の体制確立に向けた取組みが必要である。 ・「長期保有資産の解消」について、着実に解消が図られていることは評価できる。 (指導・助言) ・用地取得の難易度が上昇する中、用地取得の専門機関として効率的な用地取得を実施するため、引き続き組織力の向上による専門性の確保・継承の取組みを計画的にすすめること。
【7月22日審議会】 大阪モノレール(株)	評価において、どういったことが具体的に起きたのかも踏まえて記載した方が良いのではないかと。また、再発防止にむけ、すでに取り組んでいる内容が分かるよう記載した方がよい。	(評価) ・最重点目標のプロセス指標である「安全設備への投資の進捗」は目標を達成し着実に進められたが、「設備故障等自社責任による20分以上の遅延発生回数」については、ヒューマンエラーによるもののほか、利用客の安全確保のために遅延した案件が複数あり、さらなる安全・安定輸送の強化が望まれる。 ・「駅ナカでの物販等の新規展開店舗・施設数」については、利用者ニーズを踏まえたサービス向上に向け、目標を達成したことは評価できる。 ・「売上高」については目標未達成となったが、新型コロナウイルスの影響がなければ達成が見込まれていた点は着実に事業を推進していたものと認められる。 (指導・助言) ・南伸事業が本格化していくことに加えて、営業区間においても安全への設備投資やサービス向上等にかかる費用の増加が見込まれることから、事業の効率化や経費の削減など、今後も引き続き経営基盤の強化に努めること。

修正後
(評価) ・最重点目標である「地域合同相談会開設回数」については、相談会1回あたりの相談者数が伸び悩んでいることから、相談会の実施手法を見直すなど、改善に向けた取組みが必要である。 ・「外国人情報コーナーの相談件数」や「ホームページアクセス数」については、 新型コロナウイルスに関する多様な情報を求める在留外国人のニーズ等を受けて、目標値を大幅に上回ったことが認められる。 (指導・助言) ・地域合同相談会については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、これまでの対面型の相談形式に加え、オンラインによる相談の受付など、在留外国人の相談対応の強化を検討されたい。 ・ 今般の新型コロナウイルスの影響下において、在留外国人から寄せられた情報ニーズに適切に対応できているかを検証するとともに、今後も、突発的な事象が起こった際に迅速かつニーズに合った情報提供ができる体制を構築すること。 ・引き続き、運営コストの抑制や補助金・委託金等外部資金の獲得に努めることで、安定した法人運営に取り組むこと。
(評価) ・最重点目標である「用地取得の進捗率」については、前年度よりも改善が見られたものの2年連続で未達成となり、加えて「出先事務所職員1人あたりの契約件数」及び「用地取得に係る人件費比率」についても未達成となっていることから、効率的な用地取得の体制確立に向けた取組みが必要である。 ・「長期保有資産の解消」について、着実に解消が図られていることは評価できる。 (指導・助言) ・ マンション等の権利者が多く存在する複雑な物件や道路幅のための小規模な買収が増加する中、 用地取得の専門機関として効率的な用地取得を実施するため、引き続き組織力の向上による専門性の確保・継承の取組みを計画的にすすめること。
(評価) ・最重点目標のプロセス指標である「安全設備への投資の進捗」は目標を達成し着実に進められたが、「設備故障等自社責任による20分以上の遅延発生回数」については、 その原因が利用客の安全確保のためによるもののほか、車両点検における作業手順の誤りなどヒューマンエラーに起因するものが複数あり、安全・安定輸送の一層の強化が望まれる。 ・「駅ナカでの物販等の新規展開店舗・施設数」については、利用者ニーズを踏まえたサービス向上に向け、目標を達成したことは評価できる。 ・「売上高」については目標未達成となったが、新型コロナウイルスの影響がなければ達成が見込まれていた点は着実に事業を推進していたものと認められる。 (指導・助言) ・ 安全・安定輸送の確保に向けては、社員への再発防止に向けた研修等を行っているところであるが、さらに徹底して取り組むこと。 ・南伸事業が本格化していくことに加えて、営業区間においても安全への設備投資やサービス向上等にかかる費用の増加が見込まれることから、事業の効率化や経費の削減など、今後も引き続き経営基盤の強化に努めること。

審議会日及び法人名	委員意見	従 前
<p>【7月29日審議会】</p> <p>(株)大阪鶴見フラワーセンター</p>	<p>新型コロナの影響がない時期でも花きの需要は右肩下がりになっており、単価も下がっているため、短期の視点だけではなく、長期的な展望や抜本的な視点からの指導・助言が必要ではないか。</p>	<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標の「当期経常利益」については、施設利用料の引下げや花き需要の低下、新型コロナウイルス等の影響による売上高の減少により、目標が未達成となっている。また、最終損益も赤字となるなど、法人の経営環境は厳しい状況であるため、収益確保に向けて取り組んでいく必要がある。 ・「新規買受人の獲得」等の市場活性化の取組みについては目標を達成しており、一定評価できる。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の花き市場の取扱高の低迷を踏まえ、展示会・商談会の開催や新規買受人の獲得等、売上高の増加に向けた取組みに注力し、損失が見込まれる当期経常損益の状況改善に努めること。 ・引き続き経費の節減や、今後大規模投資が見込まれているセリシステムの更新を含む短期修繕計画の見直しを検討し、効率的な設備投資に取り組むこと。



修正後
<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標の「当期経常利益」については、施設利用料の引下げや花き需要の低下、新型コロナウイルス等の影響による売上高の減少により、目標が未達成となっている。また、最終損益も赤字となるなど、法人の経営環境は厳しい状況であるため、収益確保に向けて取り組んでいく必要がある。 ・「新規買受人の獲得」等の市場活性化の取組みについては目標を達成しており、一定評価できる。 <p>(指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の花き市場の取扱高の低迷を踏まえ、展示会・商談会の開催や新規買受人の獲得等、売上高の増加に向けた取組みに注力し、損失が見込まれる当期経常損益の状況改善に努めること。 ・大規模投資が見込まれているセリシステムの更新を含む短期修繕計画を見直し、効率的な施設改修に取り組むとともに、長期的な観点から、法人の民営化を見据えた企業価値の向上を図るため、市場関係者との協議・調整に努め、具体的な取組みを検討すること。